



ニュースリリース

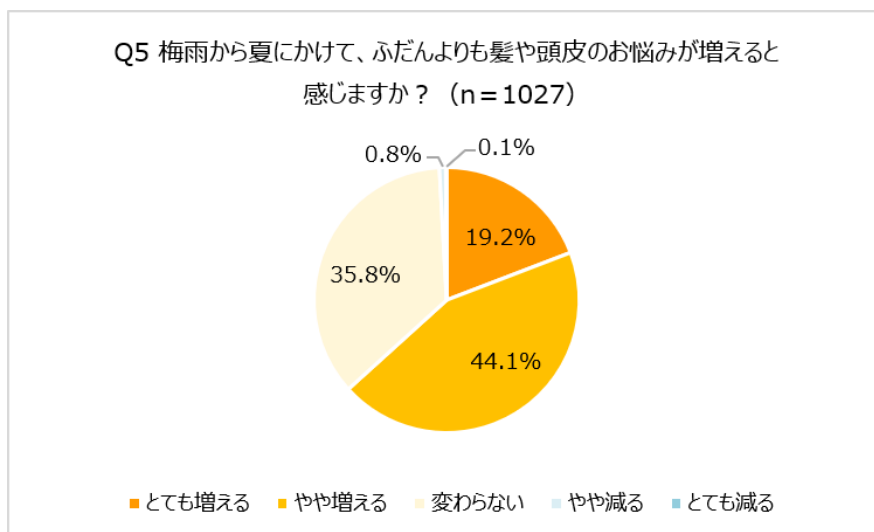
2026年6月17日

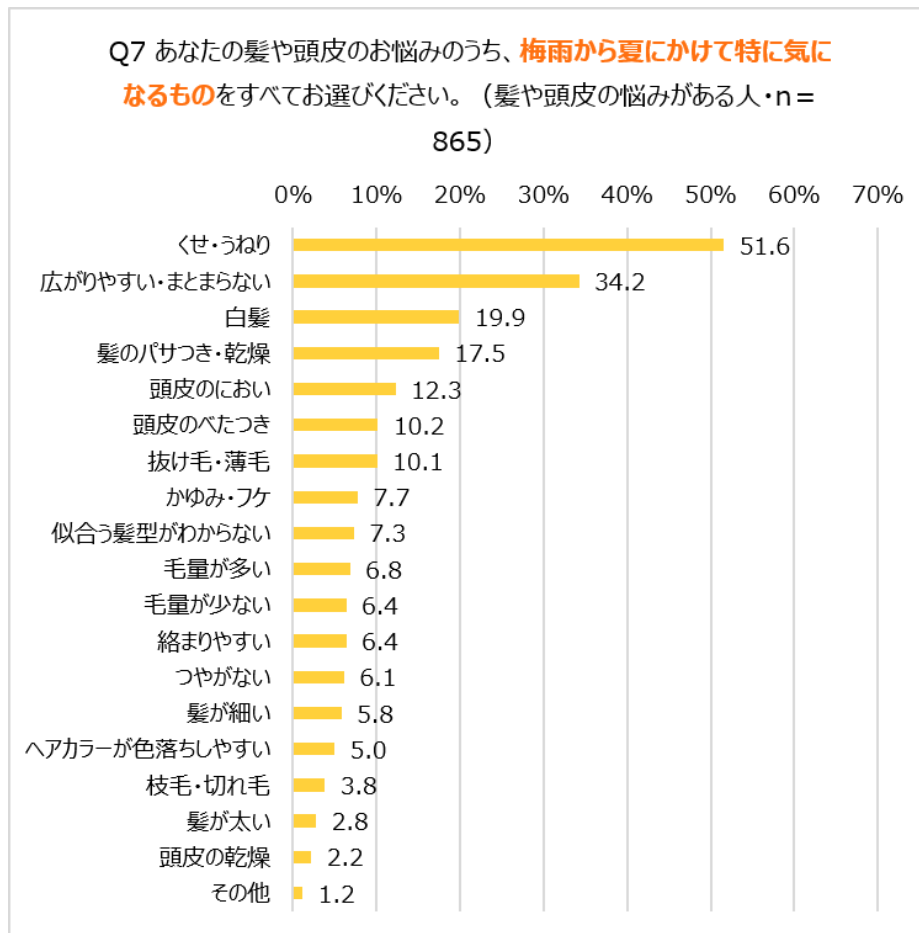
**6割超が「梅雨・夏に髪や頭皮の悩みが増える」と実感
オレンジページ「ほぼ1000人にききました」が調査結果を発表。
～お悩み第1位は「くせ・うねり」～**

くらしにまつわる旬の話題やちょっとしたトピックをオレンジページが読者アンケートでリサーチする、「ほぼ1000人にききました」。梅雨から夏にかけては、湿気や暑さの影響で髪のお悩みが増える時期。そこで今回は、ヘアケアについて、国内在住の20歳以上の女性1027人を対象に調査を実施しました。ヘアケア用品を選ぶうえで重視していることから参考にしている情報源、ヘアケアの失敗談まで、生活者のリアルなヘアケア事情がみえてきました。

【ダイジェスト】

**梅雨・夏の気になるお悩み第1位「くせ・うねり」が5割超
ヘアケア用品情報源1位は「店頭」41.7%。次いで「口コミサイト」が2位
理想の髪トップ3「つや」「頭皮の健康」「白髪が目立たない」**



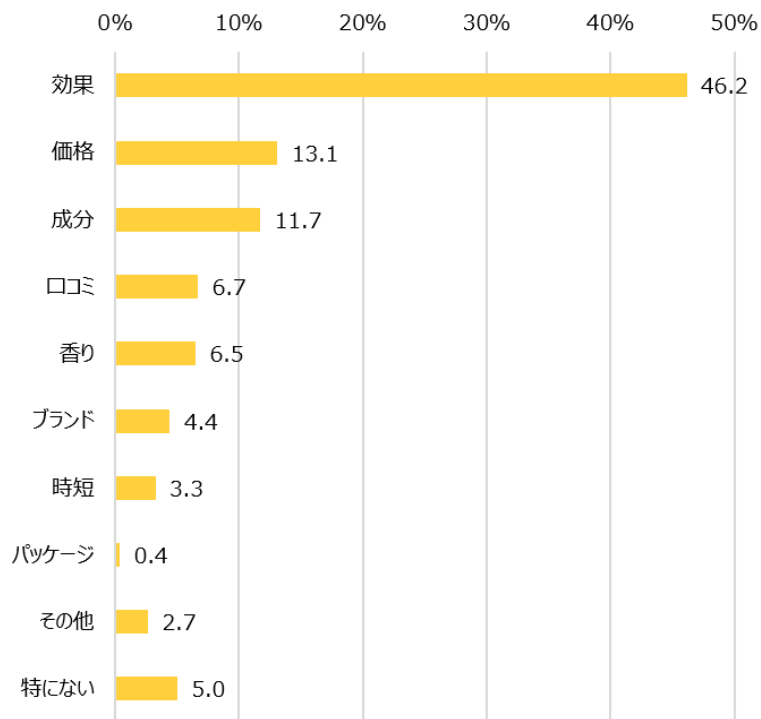


梅雨・夏のお悩みの第1位「くせ・うねり」が5割超

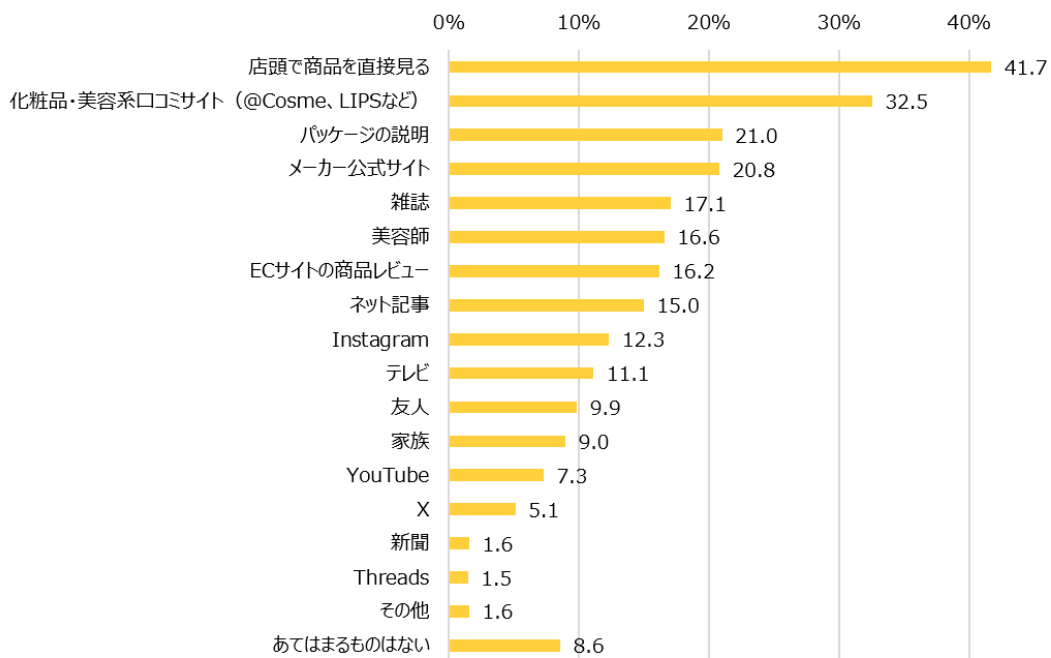
梅雨から夏にかけて髪や頭皮のお悩みが「増える」は63.3%。特に気になるお悩みは、「くせ・うねり」51.6%が最も多く、次いで「広がりやすい・まとまらない」34.2%。「湿気が多いととにかく大変。どんなにブローしていても湿気で髪がうねる！ 広がる！ 手に負えません」（60代・赤いバイク）と、湿気が原因で悩んでいるかたも少なくありません。単なる髪や頭皮の悩みにとどまらず、「髪が思いどおりにならないことが外出意欲やモチベーションに影響する」（30代・くるみ）との声も寄せられました。

湿気によるうねりや広がりのほか、「髪が細くて少ないので、紫外線の打撃で髪が乾燥してパサパサ」（60代・ぺたんこ髪）と、夏の強い紫外線によるダメージを訴える声も上がりました。また、「ジメジメ暑いので髪を束ねることが多いのですが、ゴムでひっぱる感じになるので頭皮が大丈夫かなと気になります」（40代・マンモスこ）、「つむじのあたりが湿度の影響でベタツとなり、地肌が目立つのが悩みです」（50代・ちゃま）などの、この時期ならではの悩みは尽きないようです。

Q13 ふだんヘアケア用品を選ぶ際にもっとも重視していることはなんですか？（ヘアケア用品を使用している人・n=1014）



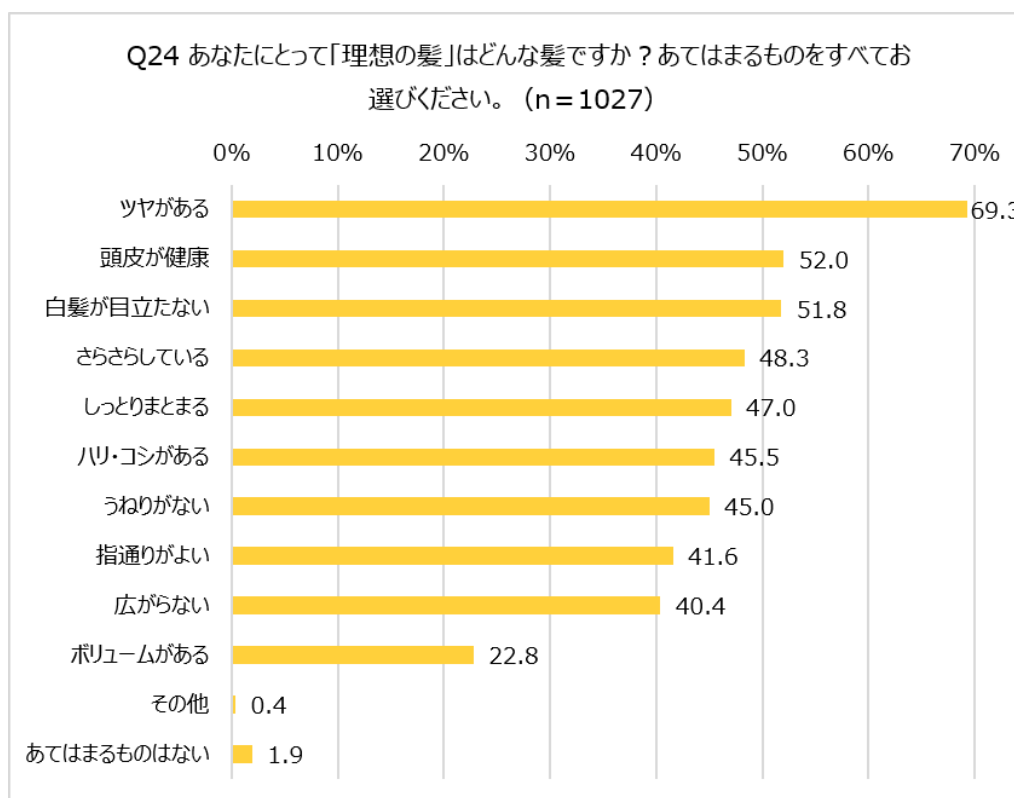
Q18 ヘアケア用品を購入する際、参考にする情報源は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。（ヘアケア用品を使用している人・n=1014）



ヘアケア用品情報源 1位は「店頭」41.7%。次いで「口コミサイト」が 2 位

ヘアケア用品を選ぶ際に重視していることは、「効果」「価格」「成分」が上位にランクイン。参考になっている情報源の第 1 位は、「店頭で商品を直接見る」41.7%。次いで「化粧品・美容系口コミサイト」32.5 %。一方で、「口コミを信じて買っても自分に合わなくて、使いきらない商品が家にたくさんある」（40 代・ゆか）という声も。ふだん購入しているヘアケア用品の価格帯は、シャンプー・コンディショナーは「1000 円未満」、トリートメントやヘアオイルなどは「1000 円以上 2000 円未満」が最多でした。

これからの季節に特に意識して行っているヘアケアトップ 3 は「ドライヤーでしっかり乾かす」53.1%、「ヘアオイル・ヘアミルクなどでまとめる」39.6%、「洗い流さないトリートメントを使う」30.9%。「毎夜のシャンプーの際に頭皮を念入りにマッサージする」（50 代・はます）、「日焼け止めスプレーや帽子で UV ケアをする」（30 代・さいはり）など、頭皮ケアや紫外線対策を心がける声もありました。



理想の髪トップ 3「つや」「頭皮の健康」「白髪が目立たない」

理想の髪は「つやがある髪」69.3%、「頭皮が健康」52.0%、「白髪が目立たない」51.8%が上位にランクイン。とはいえ、「ドライヤーの時間を短縮したくて、ついタオルでゴシゴシ拭いてしまう。」（30 代・みいたつろう）と、忙しさや手間がヘアケアの障壁となることもあるようです。さらに、「ケア用品にばかり気に

ついていたけど、ダイエット中はたんぱく質が不足したのか、切れ毛がたくさんできてしまった。」(60代・Emiemi)、「ヘアケア用品はすべてよいものを！と思って使ったが、価格が高いと長続きしないと知りました。」(30代・ふくふく)など、バランスのよい食事やケア用品のコスパもヘアケアにおいては重要なようです。

「髪や頭皮によくないとわかっていてもついやってしまうこと」は、「ウネウネしている白髪を見つけると、つい抜いてしまいます。」(50代・AU)、「お風呂上がりにスキンケアをしたりスマホをさわったりしているうちに、髪にタオルを巻いたまま30分以上たってしまう。」(40代・みわ)、「いつも同じ分け目で分けるのはよくないと知りつつも、いつもの分け目が扱いやすいので結局そのまま。」(30代・マイロ)というコメントが寄せられました。

今回の調査では、髪や頭皮のお悩みからヘアケアにかけている金額、ヘアケアの思わぬ失敗まで、女性のリアルなヘアケア事情が明らかになりました。6割以上が梅雨から夏にかけて髪や頭皮の悩みが増えると感じている中で、忙しさや手間、コストが理想の髪の障壁となっているようです。

アンケート概要

- 調査対象：オレンジページメンバーズ・国内在住の20歳以上の女性（有効回答数1027人）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2026年3月27日～4月5日

●「ほぼ1000人にききました」について

読者モニター「オレンジページメンバーズ」には、さまざまな暮らし情報・暮らし体験によってはぐまれた生活感度の高い読者が数多く所属しています。そんなメンバーたちの声を集めて、「くらしのリアル」な数字、リアルな声を集めたのが「ほぼ1000人にききました」企画です。WEB上でのアンケート調査、座談会など、ご相談に応じて展開いたします。

●『オレンジページ』について

失敗なくおいしく作れるレシピ情報が支持され、2025年に創刊40周年を迎えた生活情報誌。30～40代の主婦を中心に幅広い読者層を誇ります。

【この資料に関するお問い合わせ】

株式会社オレンジページ

次のくらしデザイン部

kurashi@orangepage.co.jp